

令和6年度事業報告書

2025/4

NPO法人こまえにほんごしえん・日本語スクール

1 事業の成果

- ・公開参加型のイベントやチラシ配布、HPの充実など、団体を認知してもらう活動を多く持つことができた。新たな参加者や見学者が増え、団体の広報に結びついた。
 - ・オンラインという新たな形態での支援を開始したとともに、支援者はオンライン学習への対応方法を学んだ。
 - ・活動実態に沿った内容に特化した勉強会を開き、活動にすぐに生かせる知識や対応方法を学んだ。
- 支援者たちは日本語教育の手法だけでなく、外国人住民の抱える特殊な状況を理解し始め、就職や進学、家庭事情に関する相談に適宜対応できるよう、スキルアップに努めている。
- ・国際交流協会が主催するイベントには積極的にメンバーが参加し、地域のつながりづくりにつながった。
 - ・定例会開催とHPでの情報発信が安定して行えるようになり、個々の役割分担と運営体制が確定しつつある。
 - ・市内の外国人が関わる各団体の担当と話し、問題を共有した。

2 事業の実施事項

日本語指導	放課後日本語支援	参加人数	学習者:延べ360人 支援者:延べ288人
実施場所	狛江第一小学校、第三小学校	日時	毎週月曜、水曜14:30~15:30 (年40回×2校)
各学校に支援リーダーを置き、学校との調整や活動内容の検討を定期的に行うようにした。 児童の希望や必要に合わせグループ活動や1対1で指導にするなど、臨機応変に対応した。 学校配布物をやさしい日本語に翻訳し、児童と学校の行事や持ち物の確認をしたり、外国人保護者に学校情報を提供した。			

日本語指導	個別日本語支援	参加人数	学習者:延べ30人 支援者:延べ30人
実施場所	狛江市西河原公民館	日時	週1回(40回)
個別指導を希望する外国人成人に対し日本語指導および就職相談とサポートを行った。			

日本語指導・文化交流事業	にほんごサロン(対面、オンライン)	参加人数	学習者:延べ260人 支援者:延べ258人
実施場所	狛江市西河原公民館、防災センター、和泉小学校	日時	第1~3土曜14:00~16:00 (年36回)
日本語の学習だけでなく、地域の仲間として信頼関係が築けるような交流の機会を多く設けた。2025年1月からはオンライン参加者も加わり、新しい支援方法を開始した。また外国人住民が抱える日常の悩みや問題を相談する場としても機能し、内容に関して支援者が情報を出し合い対応した。			

学校生活サ ポート	やさしい日本語翻訳(学校配布物の翻 訳)	月1~2回	
ミマモルメから送られてくる学校配布物をやさしい日本語に翻訳し、必要な保護者にメールで送信した。また子供と一緒に持ち物の確認や行事内容の理解に役立てることができた。			

人材の育成 事業	公開講座開催(やさしい日本語実践講 座)	参加人数	31名
実施場所	狛江市防災センター	日時	2024/6/9(日)10:00~12:00
外部講師による講座を開催した。一般参加者と外国人協力者を交え、やさしい日本語の概念や変換方法を学んだ。外国人協力者には、実際に日本人が翻訳したやさしい日本語が伝わるかどうかの判断をしてもらった。			

人材の育成 事業	内部勉強会2回	参加人数	1回目:15名 2回目:11名
実施場所	狛江市防災センター、狛江市西河原公民館	日時	2025/2/1(土) 2025/3/1(土)
1回目は多文化共生を取り扱うNPO団体CINGAの講師を迎え、日本の外国人施策や外国人らの置かれた現状を話してもらい、在住外国人が抱える課題の認知と狛江市の問題について考えた。 2回目は内部メンバーを講師とし、日本語の基礎的な知識や指導時の注意点を学び、スキルアップを目指した。			

子どもの健 全育成を図 る活動	小中学生交流活動(おはなしカフェ)	参加人数	子供20名、大人15名
実施場所	狛江市西河原公民館	日時	2025/11/2(土)14:00~16:00
市外の海外にルーツをもつ中学生たちが中心となり、狛江の児童生徒と交流イベントを開催した。お互いの学校のことや日本に来て感じたカルチャーギャップについて話す、自分のルーツに関するクイズを出すなどして交流した。日本だけでなく、日本以外の国への興味を掻き立てたり、自国文化に対する愛着を再認識したりして、子供たちが自分たちの立場や悩みを共有するよい機会となった。			

広報活動	チラシの制作・配布	作成月	2024年4月、2025年2月3月
------	-----------	-----	-------------------

外国人相談機関一覧は、市内の外国人が関わる機関と連携し、日本人が外国人について相談したりつなげたりする際に参考になる機関の一覧を掲載し、公共機関や学校へ配布した。
外国人向けチラシはすべてひらがなで作成し、粕江に来た外国人が自分で相談できる機関の一覧を掲載した。公共機関での配布するとともに、市民課窓口で外国人向け書類の一式に加えてもらうことになった。

他団体との協働活動	粕江市国際交流協会イベント参加	都度	盆踊り、お料理教室、もちつき、日本語スピーチコンテスト等に、学習者・支援者に積極的に参加してもらった。
他団体との協働活動	りぷりんと粕江かわせみの読み聞かせイベント	年8回	読み聞かせ団体に定期的に参加してもらい、読み聞かせを通して文化に親しんでもらった。
運営	定例会の実施	年12回	毎回安定した人数で運営し、情報や問題点の共有に努めた。
運営	HP更新	月数回適宜	担当メンバーを決め、更新が滞らないように努めた。より見やすく適切な内容を検討し、検索エンジンへの対応等をした。